

ISO14001:2004年版への移行で
新たなステージを迎えた環境マネジメントシステム

JQAと第三者認証制度への期待

環境編

今年度のISO NETWORKでは、ISOマネジメントシステム及びJQAの今後の審査のあり方を考える特集を、4回シリーズで掲載します。前号の<品質編>に続く第2回は、環境マネジメントシステム(EMS)です。

近年、環境に大きな影響を及ぼす企業活動に対する社会の要請はますます厳しくなっており、環境マネジメントシステムの重要性はさらに高まっています。JQAでは、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会をめざして、信頼性の高い第三者評価により、さまざまな角度から環境保全活動を支援しています。

今回は、「新たなステージを迎えた環境マネジメントシステム」と題し、制度に関して深い見識をお持ちである筑波大学大学院ビジネス科学研究科の椿広計教授のインタビュー及び、本誌での登録企業・組織の取材、JQA審査の際のアンケートをベースに、ISO14001の今後、そして、JQAの審査に対する基本的な考え方をご紹介します。

ISO14001 環境マネジメントシステムは
企業が社会的責任・役割を果たすための仕組み
筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授 椿広計氏インタビュー

JQAの審査が組織の価値、
競争力を高め、
地球環境保全に貢献するために